

史跡名勝天然記念物の指定・重要文化的景観の選定

(令和6(2024)年6月24日(月)文化審議会答申 本県分)

史跡

名称	新指定・追加指定の別等	所在地	指定対象面積	概要
にしかたじょうあと 西方城跡	新指定	栃木市	176,619.59 m ²	宇都宮氏家中の国人領主である西方氏が築いた中世後半から近世初頭の山城。城主の交代や北関東の政治的緊張と連動して山城の規模や構造も大きく変遷し、当該期の城館の形態と変遷や築城技術を知る上で重要。

重要文化的景観

名称	新指定・追加指定の別等	所在地	選定対象面積	概要
おおや きがんぐん さいせき 大谷の奇岩群と採石 さんぎょう ぶんかてきけいかん 産業の文化的景観	新選定	宇都宮市	376.5 ヘクタール	関東平野北端部、凝灰岩が丘陵を成す宇都宮市大谷地域において、農村が、近世に農家の副業として始められた採石を近代以降に地場産業とし、発展してきたことを伝える。信仰や観光の対象であり続ける、侵食や採石によって形成された奇岩群等が特徴を成す。